



【12月の休館日】

4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・29日(金)
 ~1月4日(木)
 イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



おとばなワークショップ・

生演奏と一緒に“語り”をしてみよう！

出演：おとばな【宇高靖人氏（音楽家）、宇高杏那氏（音楽家）、和久田み晴氏（声優）】

日時：12月9日(土) 午後2時～3時

会場：石岡市立中央図書館読書室 対象：幼児・児童

募集人数：幼児・児童・保護者合わせて約50人

※定員に達した場合は締切

受付方法：12月8日(金)までに中央図書館カウンター、電話もしくはいばらき電子申請にて受付

えいごで絵本の読み聞かせ

講師：坂本富英氏（英会話スクール講師）

日時：12月17日(日)午前10時30分～11時15分

会場：こども図書館本の森おはなしのへや

対象：幼児・児童

募集人数：幼児・児童・保護者合わせて約50人

※定員に達した場合は締切

受付方法：12月16日(土)までに中央図書館カウンター、電話もしくは、いばらき電子申請にて受付

年末年始に資料を返却する場合

▶中央図書館玄関脇・八郷庁舎玄関にある返却ポストをご利用ください。
 ※CD-ROM付の本は、開館後に直接カウンターへお持ちください。

◆こども図書館本の森（午前10時～）

2日(土) おはなし玉手箱

14日(木) ひよこのおはなしかい

16日(土) むかしむかしのおはなし会

※ひよこのおはなしかいのみ午前10時30分～

◆郷の本棚やさ図書館

（午後2時30分～）

9日(土) おはなしフレンズ



▲（写真左）丸山4号墳の埴輪
 （写真右）西町古墳の埴輪

時の記憶

シリーズ217

「丸山4号墳の埴輪と西町古墳の埴輪」

図文化振興課（支所）

TEL 43-1111（内線1454）

「柿岡古墳群」のうち、前回は丸山4号墳（二子塚古墳）の埴輪、前々回は西町古墳の埴輪を紹介しました。二つの古墳とも築造されたのは6世紀代。しかし、その埴輪の粘土を見ると、大きな違いがあります。

丸山4号墳の埴輪をよく見ると、粘土の中に金色に光る雲母の粒がたくさん入っています。一方、西町古墳の埴輪には金色に光る粒は見つからず、白い粒が目立ちます。これはそれぞれの埴輪を作るのに使った粘土が違っていたためと考えられます。埴輪を作るには、近くから粘土を採ってきたはずですが、とすると、丸山4号墳と西町古墳の埴輪は別々の場所で作られたと推測できることとなります。

丸山4号墳と西町古墳の距離はわずか1.5km。また古墳が造られた時期もさほど違いません。それにもかかわらず、二つの古墳ではわざわざ違うところで作られた埴輪を使ったと考えられるのです。

丸山4号墳の埴輪と西町古墳の埴輪は、ふるさと歴史館で開催中の企画展「柿岡古墳群」で展示しています。ぜひ見くらべてみてください。

期間／12月27日(木)まで

場所／ふるさと歴史館（総社1-2-10）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

コスモスの風と戯る母と子と
フルーツサンド頂く昼餉小鳥来る
秋晴や母になりたる子の帰郷
愛車は空へ清秋のいろは坂

やさし俳句会

移り来て人みなやさし鱗雲
殺戮へ黙殺重ね文化の日
新米の炊き立て先づはみ佛に
名峰や献上柿の里日和

いしおか川柳会

よい方の耳で聴いてるほめ言葉
ポイントの誘惑に負け無駄づかい
リスク避け避けた積りが徒となり
恋すれば空も飛べるし髭も剃る

石岡俚謡会

踏まれながらも 路傍の草は 秋にや忘れず 実を結ぶ
菊が囲んだ 大きな遺影 友の笑顔に 涙する
家族一丸 祖父母の宝 胸を弾ませ 菊花展
マスク外した 空気がうまい 木々の紅葉の 秋を吸う
軒に下がった 風鈴おろし 夏も酷暑も 片付ける
秋になります 笑顔の仲間 菊の作りの 花談義
止まぬ少子化 どうする日本 増加一途の 高齢化
頼り過ぎてた エアコン切って 窓を開ければ 秋の風

投稿作品

冬薔薇のひらききつたる矜持かな
捨ててごみ生かせば資源ごみの山

小池 さき子(高浜)
前川 豊美(石岡)
四日市 ゆみ子(旭台)
若色 茂(山崎)

越智 旅舟(太田)
馬場 小零(片岡)
山崎 景子(瓦谷)
松崎 淑子(細谷)

石塚 芳華(石岡)
岡野 はつ子(小幡)
小川 義隆(大増)
金本 優(東成井)

篠原 美千代(国府)
助川 浩史(府中)
前島 くに子(貝地)
石塚 芳華(石岡)
小川野 蛙(府中)
醍醐 正夫(東大橋)
香俱耶姫(南台)
坂下 蜻蛉(国府)

土井 湧輔(府中)
鈴木 みち子(小幡)

スポーツ協会だより

第11回 「スキ一部」

石岡市スポーツ協会スキ一部は、昭和46年4月に設立され、今年で53年目を迎える団体です。

スキー、スノーボードは、競技としての一面もありますが、個人の技術やレベルに応じて誰でも楽しむことができ、小さな子どもから年配の方まで多くの人を楽しんでいるスポーツです。

当スキー部には、スキー、スノーボードともに指導者資格を有する部員が在籍しています。

初心者の人はもちろん、ベテランスキーヤー、ボーダー、以前スキーを経験し再開を検討している人など、当スキー部で一緒

に楽しいシーズンを過ごしてみませんか。
☎スキ一部事務局 TEL 26-7210

